

What's New From ASCIKU

関西大学科学技術振興会 No.11 September 2008

第3回研究会を開催 9月27日(土)

平成20年度の活動テーマを「皆様方とともに祝い、これからを考える工学部創立50周年ー温故知新、新たな社会連携モデルの創造ー」に設定し、活動テーマをもとにした今年度の研究会。かつて工学部で教鞭を取られ、幾多の有為な人材を育成された、工学部発展の礎を築いて来られました先生方から往年の名講義を復活して戴き、また工学部校友の経営者が自らの体験を通しての講演を計4回計画している研究会の、第2弾です。

寺内俊太郎会長の開会挨拶、内山寛信機構長からの挨拶に続き、楠見晴重環境都市工学部長から挨拶とともに、関西大学理工系3学部開設・工学部創立50周年記念事業「理工系学生・大学院生研究支援基金」について、広く募金のお願いに取り組んでいるなか、振興会の方々にご賛同をお願いしたい旨、協力の依頼がありました。今年度から始めた大学院生の参加を含め、44名の出席でした。

1. 「復活、迷? 講義」

「Ti-Ni-Cu 3元系状態図への取り組み」 関西大学名誉教授 薬師寺 正雄 先生



ご退職から8年ぶりの教壇に立たれた先生のお姿は、御髪が白くなった程度で、筆者が40年前に受けた「鉄鋼材料」の先生とお変わりありませんでした。

戦後、京都大学で四塩化チタンの研究に取組まれて以来の50年を振り返り、物のなかつた時代から新しい装置が出現し、それを果敢に標記研究に取り入れ、急速な科学技術の進展とともに歩まれた間の苦労話

を、会員諸兄姉と同席の大学院生共々お聞かせいただきました。

そして先生の心身癒しの場が「日本庭園」であったことを、永いお付き合いながら初めて知らされた次第です。日本庭園を構成する「石-水-植栽-点物 4元系状態図の研究」は、益々佳境に入るものと楽しみです。又のご講義を期待しています。

(杉本隆史記)



2. 「校友が語る技術開発」

(1) ウメトク株式会社 海外事業室副部長 前田 秀人 氏 (昭52学工金、昭54院修金)

旧称 梅田特殊鋼株式会社、阪急千里線が梅田ホームに入る直前に目にする梅花印とウメトクの社名は皆様お気付きのことと思います。ステンレス鋼に代表される特殊鋼商社は、21世紀の技術基板を支える“適材適所”のソリューションをトータルで展開する技術者集団として、関西大学工学部卒の27名が国内はもとよりタイ、マレーシア、中国、アジアを中心に国際舞台で活躍しています。



(2) 株式会社 棚澤八光社 プリント配線事業部部長 大森 民雄 氏 (昭44学工金)

高度情報化社会を担うプリント配線事業とエッチングおよび電鍍加工技術を活用した金型事業、これらを2本の柱にユニークなグローバルネットワークを駆使して研究開発型企业としての挑戦を続けています。金型事業のメインは“シボ加工”、自動車の内装に見られるプラスチック成型品に革張り品の風格を与えているのが装飾効果の高いシボ加工です。スベリ止めなど安全性、補強性も付加してくれます。またオリジナルなシボパターンや試作段階の否量産品でも高品位な“バナトーン”は対応できます。



大森氏

(3) フジマーク株式会社 代表取締役社長 竹村 敏彦 氏 (昭44学1法)

表示したい意匠内容を、バックライトの点灯・消灯時とで視認区別させる印刷技術(照光表示用積層体)を応用して、シルクスクリーン印刷及びインクジェットでの出力商品をデザインから完成品までを生産し、販売しています。最近、壁からタッチパネルが浮き出るマンションなどでの入出管理用システムを開発しました。同システムは、木目など普通の壁に見えるパネルの表面に触れると、バックライトが光り、「隠し絵」のように数字が浮かび上がる仕組みになっています。



竹村氏

シンポジウム記念品の展示

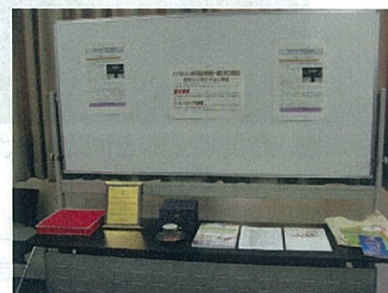
第3回研究会会場において、9号での速報「第2回海外研究会が無事終了」=チュラロンコン大学石油・石油化学研究科と関西大学工学研究科との合同シンポジウム参加=に関し、振興会10社参加の企業紹介パネルや、チュラロンコン大学学長から振興会に贈呈された両大学の創立記念を祝しての盾などが展示されました。



企業紹介展示パネル



チュラロンコン大学学長から贈呈された盾



チュラロンコン大学学長から贈呈された盾などの記念品

ご案内

会員が本を出版

会員の森合主税氏(森合精機(株)常務取締役)が執筆担当の「現場で役立つ洗浄評価法」—日本産業洗浄協議会 編、工業調査会発行—が出版されました。広く産業洗浄で活用されている評価法を主体に網羅、洗浄現場で役立つ情報がまとめられています。一般書店で販売中です。

定価(本体2,500円+税)

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1章 洗浄評価法総論 | 5章 航空宇宙機器部品の洗浄・清浄度評価法 |
| 2章 洗浄性能・清浄度評価法 | 6章 洗浄廃液評価法 |
| 3章 洗浄液評価法 | |
| 4章 洗浄装置・洗浄周辺装置評価法 | |



ASCIKU 関西大学科学技術振興会

Associative Society for the Collaboration between Industries and Kansai University